

なでしこ通信 第 42 号

《隔月発行》

— 目 次 —

- ★疑問だらけの子宮頸がんワクチン
参議院議員 山谷 えり子
- ★めざす会研修会のご案内
東日本大震災災害派遣の体験を語る
講師 森川 建司 氏
- ★ごあいさつ
めざす会会長 青井 美智子
- ☆事務局から

疑問だらけの子宮頸がんワクチン ■ □

参議院議員 山谷 えり子

■臨床データが足りないのに、なぜ急ぐのか

ネットで流れている情報は、このワクチン「サーバリックス」に含まれるアジュバンドという免疫増強剤がペットの避妊に使われているので、人間に接種すれば不妊につながるのではないかということのようです。これについて私は、製薬会社グラクソ・スミスクライン社と 4 回にわたってやりとりしました。会社側の回答は、今回のワクチンに使われている免疫増強剤は新型なので大丈夫というものでしたが、今の段階では、どちらが正しいかは判断できません。つまり、それを極めるだけの臨床データがまだないのです。とすれば、数年か、10 数年か分かりませんが、データが蓄積され正しい判断が出るまで、使用は控えるべきだというのが私の考えです。

ほかにも疑問点は多くあります。このワクチンについての同社の医師向けの説明書によると、「本剤の予防効果の持続期間は確立していない」と書いてある。いまのところ 5~7

年は持つだろうといわれているのですが、12歳で接種して数年後には効果が切れるとすれば、20歳前の一番予防が必要な頃には効果がなくなっているということになる。これでは一体何のための接種なのかとなるわけです。

そもそもこのワクチンはどのようにして効くのかというと、子宮頸部の粘膜に、抗体が滲み出続けることによって効果が出るという。しかも授乳期には（動物実験で）おっぱいにも抗体が滲み出る危険があり、赤ちゃんへの影響が心配されるので授乳時は接種しないようにという注意書きが書いてあります。つまり効能だけでなく安全性も確認されていないのです。

さらに、そもそも子宮頸がんを引き起こす HPV（ヒトパピローマウイルス）は主に 15種類あって、このワクチンがそのうちの HPV-16 型、18 型の 2 種類のウイルスにしか効かないという。また、HPV の型の流行傾向には地域差があり、欧米では 16 型、18 型が 8～9 割を占めるのに対して、日本では、5～7 割。つまり、対 16 型・18 型用であるこのワクチンを接種しても日本人の場合、3～5 割の人には全く意味がないということなのです。

実は、厚生労働省も当初はこのワクチンの助成支援を渋っていました。もっと優先順位の高い他の病気のワクチンもあるのに、どうして子宮頸がんワクチンが一番先なのか。同省のがん対策室長でさえ、「ワクチンの長期的な効果、副作用の情報がまだ十分とはいえない。長期のフォローアップデータがないうちに欧米ではなぜこんなに早く承認したのだろうか」と違和感を表明していたのです。ところが、長妻大臣が突然ゴーサインを出して、このワクチン接種の公費助成として概算要求 150 億円を決めました。

そもそもなぜ近年、とくに 20 代後半から 30 代前半の若い女性の子宮頸がん発症率が増えているのか。これは私も質問主意書で政府に訊いてみました。政府の回答は、「性交渉開始時期の低年齢化等の影響があるものと考えている」というものでした。

この子宮頸がんは、そもそもセックスしなければ罹らないのであって、最大の予防策は、性道徳意識を高めることであることは、政府も分かっているはずです。にもかかわらず、そこには着手せず、年端も行かない中学生になったばかりの女の子たちへのワクチン接種ばかり先行させるというのは、実に奇妙ではありませんか。

■セクシュアルデビュー？ — 過激な性教育の再来

フラッシュバックする感じがするのは、エイズが社会問題化したときに、その予防として、学校に大量のコンドームが配られ、その使用法の授業が行われ、「ラブ&ボディブック」という解説書が大量に配られたことです。

今回の概算要求 150 億円のなかには、薬代と共に教育という項目が入っています。すでに、このワクチンさえ接種すれば子宮頸がんには罹らなくなるという解説書や漫画による説明パンフレットが大量に作られている。なんという手際の良さでしょうか。

産経新聞（22年9月6日付）にも書きましたが、これらの漫画解説の中では「セクシュアルデビュー前に」なる言葉が飛び交っています。セクシュアルデビューなんて言葉を、私は初めて聞きました。12歳くらいで初交があることを指すらしいのですが、まるで幼児の公園デビューのごとき感覚で、12歳でセックスするのは当たり前といわんばかりの表現です。やがて、男の子から女の子に、「お前ワクチン打った？じゃあ、セクシュアルデビューOKだな」なんて会話がなされるんじゃないか。結果として、予防接種さえしていればセックスしても大丈夫とばかり、フリーセックス運動をすすめる方向に行く可能性があるのではないのでしょうか。

つまり、これは過激な性教育の再来なのです。

そういう狙いを知ってか知らずか、このワクチン接種推進の地方議会決議もどんどん上がっています。共産党が原案を書いて公明党が推して決議をあげている地域もあり、今また民主党がこれに乗り、また自民党の多くの議員も乗り気であることは、由々しい事態です。すでに杉並区では、「中学入学お祝いワクチン」と称して区内の医療機関での無料接種を開始しました。厚生労働省のホームページによると、公費助成を表明している自治体は126市区町村となっています（22年7月26日）。

データが著しく不足し、効能も持続効果も安全性も確認されたとはいいがたいのに、なぜ、これほど前倒しに推進しようとしているのか。ここに製薬会社とそこから利益を得ようとする人々の暗躍があるのではないかといえば勘ぐりすぎでしょうか。いま一番不安に思っているのは、12～13歳の娘さんを持つお母さん方です。私のところにもたくさん相談の連絡がきています。

結局、この問題もジェンダーフリー派の思想と一致するという点で、男女共同参画第3次基本計画とその発想は通じていると思います。私は「ジェンダーフリーは男も女も不幸にする」と言い続けてきましたが、このワクチン接種が若い女の子たちの性道徳や生命観をずたずたにするきっかけになるとしたら、こんな不幸なことはありません。

「『家族』があぶない！家族破壊のイデオロギー 男女共同参画基本計画」より

中・高校生（2年まで）の子宮頸がんワクチン接種状況

【松山市】対象者の67%が少なくとも1回は受けている。市民から、行政が性交渉を奨励するのかと言った電話がかかってくることもあるが、市行政は国の施策に従っていると回答しているとのこと。

【今治市】対象者の69%が接種している。費用が全額負担され学校や保健所から案内が行くが、それを「勧めていない」と言えるのかという問いに対して、「国の方針に対し今治だけやらないという選択肢はない」。ワクチンをして検診は必要だ、それなら接種の意味があるのかに対して「だからワクチンは推していない」の堂々巡り。

【東温市】対象者782人のうち、1回は受けた人は約250人。市民からの問い合わせとして、他の人達がどれくらい接種しているかをわが子の参考にしたいとか、どんな副作用があるかというのがあった。このワクチンは強制ではなく任意接種なので、決めるのは母親であるから、行政としては強く推せないでいるとのこと。

めざす会研修会のご案内

「東日本大震災災害派遣の体験を語る」

日時：11月27日（日）13:30～15:30 開場13時

会場：砥部町文化会館（089-962-7000）3階視聴覚教室

講師：森川建司氏（ひめぎん 人事教育部付 担当部長）

入場料：1000円（茶菓・資料代） 学生：無料

◆◆25日までにお申し込み下さい。◆◆

私（森川氏）は、今回の災害派遣を通じて、「お金や名誉のためではなく被災者のために命をかけ、そして感謝される」という自衛隊という職業を改めて誇りに思いました。

今後は愛媛銀行の一員として今回の経験や教訓を行員教育や危機管理にいかしていくとともに、震災に直接関わったものとして当行の伝統精神である「無尽」「思いやり」を持って、東日本復興のために自分のできることを誠実に行っていきたいと思います。

私は災害派遣終了直後に犠牲者の慰霊と復興祈願のために四国八十八カ所歩き遍路を開始し、約30日間で成就しました。（「ひめぎん情報 秋号」より抜粋）

■□ごあいさつ

めざす会 会長 青井 美智子

会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

めざす会は、男女共同参画の欺瞞を世間に知っていただくために16年春に発足し、隔月に会報「なでしこ通信」を発行する傍ら、結婚や子育て、性感染症、夫婦別姓反対などをテーマに9回の講演会を開催して参りました。

今年の春、大阪大学大学院の女子院生から、めざす会の会員にインタビューしたいと申し入れがあり20人ほどの方に協力をお願い致しました。女性学を肯定する立場の院生の依頼の表向きの趣旨と本音の間には乖離があるようでしたが、それはさておき。

会員の方に協力依頼の電話をしたり、実際にインタビューを傍聴したりしておりますときに、それぞれの会員さんは家庭を支え地域を守り、そしてしっかりしたご意見を持っておられるたくましさに、強く敬意を感じないではいられませんでした。そしてめざす会の活動を長きに亘って支えて下さっている方々や新しい会員の方々が、親しく交流し意見を述べあい活動を広げていく、そういう機会を是非設けたいと思っておりました。

そこで、私共の活動も狭義の男女共同参画にとらわれず、家族の絆や伝統文化の継承、また家庭や地域、教育問題など幅広く取り上げた、会員参画型の研修会を開いていく運びになりました。

まず第1回は、東日本大震災の救助活動に第14師団司令部（香川県・善通寺駐屯地）から行かれた森川建司氏にお話いただきます。3・11東日本大震災は、私達に先祖が営々と築いてきた美德や家族や社会の大切さを思い出させてくれました。ふるってご参加下さいませ。

今後もタイムリーな、また保守にとって大切なテーマに取り組んで参ります。変わらぬご支援に感謝申し上げます。

かしこ

■◇■ 事務局から ■◇■

◆めざす会学習会のご案内 11月8日（火）午前11時～1時まで東石井にて。幼稚園の園長先生に園児や保護者についてお話を伺います。ご参加下さる方は前日までにお電話下さい。

◆椿祭り（1月29日～31日）での救う会の活動にご協力下さい。めざす会の担当は1月30日（月）正午から2時まででございます。ご協力下さる方は青井までご連絡下さいませ。

◆年会費（1000円以上）の切れる方に払込取扱票を同封しております。会員1000名を目指しております現在770名でございます。よろしく願い申し上げます。

健全な男女共同参画社会をめざす会

会長 青井 美智子

〒790-0931 松山市西石井 1-3-30

ホームページ <http://www.mezasukai.com/> 電話 090-8971-7721 FAX 089-964-3903

メール michikoaoi25@yahoo.co.jp (件名を明記してください)